

令和元年度 小山町立いきど保育園評価「自己評価書」

1 教育目標

『いきいき活動できる子』

2 重点目標及び具現の方策

○重点目標「自分で考えてあそぶ子」「やさしい気持ちになれる子」

- ・目標に向かっていくまでに、失敗、トラブルなどの実体験を通して、意欲・自発性思いやりを培う。
- ・四季折々の自然に触れ、小動物の飼育から、美しさ・不思議さの尊さを学ぶ。
- ・栽培活動を通し、収穫の喜びと共に、食べ物に対する感謝の気持ちと、自分を守る必要な能力（食育）を学ぶ。
- ・世代ふれあいを通し、お年寄りの存在に気づき、伝承遊びや手作り玩具の大切さを知る。
- ・音楽や絵本に親しむ中から、豊かな感性や想像力を培う。

3 項目別評価

評価項目	項目別評価	評価の理由	職員アンケート結果	保護者アンケート結果
保育計画・教育課程	B	教育課程を軸に月案を立て日々の保育へと結びつけた	B	A
保育指導	B	園の研修テーマを中心に、個々をみつめた保育に励んだ	B	A
保健管理・食事	A	アレルギーの子に対してのマニュアル徹底をした	A	A
安全管理	A	毎朝の安全点検に月に2回の大きな点検、日々のヒアリハット(実際に危険だった事柄を書面に残す)の実行	A	A
特別支援教育	B	コーディネーターを中心に園内支援委員会を開きながら進められた	B	A
組織運営・情報管理	B	情報管理をしっかりとできた	B	A
研修	B	研修報告を園内で実行し、共有を図った	B	
教育目標・園目標	B	玄関への掲示。園便りでの呼びかけ。参観時での説明を実行	B	A
情報提供	A	園便り・地域便りを利用した情報提供	A	A
保護者・地域との連携	B	保護者への日々の言葉かけを大切に、PTAと連携がよくできた	B	B

子育て支援	B	ペンギンランドにて園外の方への支援を大切にした	B	A
施設・設備	C	建物の老朽化で仕方がない部分もある	C	B

- (注) 1 評価表示方法「A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが、成果が十分ではない、D：取組が不十分である」
 2 「職員アンケート結果」は、項目別評価用アンケートを集計したものである。
 3 「保護者アンケート結果」は、項目別評価用アンケートのうち「わからない」と回答したものを除いて集計したものである。
 4 「項目別評価」は、「職員による評価」及び「保護者による評価」をもとに、職員で話しあって決定したものである。

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
保育指導	前期からの続きで、研修テーマ「自ら活動を生み出す子どもの育成～意欲的に遊べる子～」を軸に子どもの育ち、学びを育成するように努力をし、方法も具体的にあげて進めた。その中で職員が共通して子ども理解ができるように職員室に「子供の姿地図」を掲示し周期的に展示を変えた。遊びの姿を可視化したことで子ども理解へと繋がった。会議の時間をとる工夫をしながら園内研修を進めてきた。今年度の反省課題をあげて次年度に繋げていきたい。
情報提供 保護者・地域との連携	前期に続き、後期も各学年の様子を写真にして玄関に掲示するようにした。また、「今日の一枚」としてお知らせボードに当日の保育の様子の写真も掲示し、保護者に伝えるようにした。アンケートも行った。好評価だったので来年度も続けていきたい。地域版の園便りも定期的に行った。地域の方への情報提供も今後も続けていきたい。

5 評価全体を通して

- ・園評価を行ったことで保護者に保育が届いているのか確認ができた。保護者の感謝の言葉がたくさん聞けて保育の励みになります。
- ・評価を行ったことで職員一人一人が反省・課題を見つけ、今後取り組むべきことを考え実行へと移した。計画の大切さや見直しのきっかけともなった。
- ・保育指導等については前期の見直しから後期は保育の充実に向けて園内の研修テーマに向けて同じ方向をみて取り組んだ。今年度の反省を来年度に繋げるようにしたい。
- ・保護者とのコミュニケーションを大切にしている。今日の保育を伝える為「今日の一枚」を毎日玄関に掲示し共通の話題を語り合うことで保護者との関係性も良い。また、朝夕での保護者への言葉かけも大切にしている。
後期には保護者にアンケートをとった。子どもの普段の様子が分かってとても良いという好評化がほとんどで成果が大きかったことを実感した。今後も続けていきたい。
- ・情操教育として絵本の読み聞かせはこれからも力を入れて大切にしていきたい。
- ・建物は老朽化しているが、その中で職員は衛生面に気を付け、危険の無いように努力をしている。これからも気を付けていきたい。